

2. 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	<p>ムキンガ郡の対象地域住民の安全な水へのアクセスと食料の多様性が向上する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの村で合計4,974人の住民の安全な水へのアクセスが向上した。 <p>(今期の達成目標) 1つの村の給水パイプの延伸と、1つの村で給水システムを建設し、対象となる村における住民の安全な水へのアクセスが改善した。</p>
(2) 事業内容	<p>1. 安全な水へのアクセスが改善される</p> <p>1.1 Duga Maforoni 村の貯水タンク建設と給水パイプの延伸 貯水タンク (50m³×2基) 及びポンプを新たに設置し、ダムから貯水タンクへ給水するパイプとタンクからコミュニティに給水するパイプを分ける新たな給水システムを設置した。これにより Duga Maforoni 村の人口3,989人が安全な水を得ることができている。</p> <p>1.2 Doda 村のダムから Kibiboni 村へ給水システムの延伸 Doda 村の既存のダムから隣接する Kibiboni 村に給水するためポンプ、貯水タンク、給水パイプと6か所の給水ポイントを設置した。これにより Kibiboni 村の人口985人が安全な水を得ることができている。</p> <p>2. コミュニティと地方政府の水管理能力と衛生の知識が強化される</p> <p>2.1 6つの村の水管理委員会の能力強化 タンザニア政府が策定した水管理委員会のための研修マニュアルに従って、2020年2月に3村(Duga maforoni、Doda、Kibiboni)の水管理委員会への研修を行った。研修内容は水供給システムの管理、集金の管理、電気代の支払いと中期的な視点に立った備品の調達などの点に留意され、水管理委員会の能力が強化された。</p> <p>2.3 コミュニティリーダーに対する水衛生に関する課題の研修 2020年8月に12名のコミュニティリーダーに対して水衛生の課題に関する研修を行った。コミュニティリーダーは教会、モスク、学校、保健施設、村の会議を通じて、メッセージを伝え、コミュニティの人たちの行動変容を促した。</p> <p>2.4 地方政府との調整委員会の設置 2020年8月、および12月に政府関係者および水管理委員会の代表者ととも委員회를組織し、会議を行なった。本会議では事業の進捗が事業関係者との間で共有されるとともに、水管理委員会から水システムのメンテナンス計画が発表され、事業に対するオーナーシップが高まった。</p> <p>3. 世帯の食料多様性が向上する</p> <p>3.1 皿池を支援するグループの特定 支援対象の6村において農業用水を確保するための皿池を支援するグループを6村から12グループ、栄養改善のための魚養殖用の皿池を支援するグループを6村から18グループ、合計30グループを選定した。</p> <p>3.2 ダムライナーの提供 ダムライナーの提供を予定通り30の皿池に対して行なった。</p>

	<p>3.3 養殖用の稚魚の提供 9つのグループの皿池に1つの皿池あたり1,600匹、合計14,400匹の稚魚の提供を行なった。</p> <p>3.4 魚養殖に関する研修の提供 魚の養殖を行うグループメンバー405名に対して4日間の研修を行なった。研修では、稚魚から成魚までの育て方、水の管理の方法、えさの作り方や、皿池の作り方や整備の方法を研修した。</p> <p>3.5 栄養価の高い作物の農業技術に関する研修の提供 変更報告第2号に記載の通り、研修を一部合同で行い合計329名に対して栄養価の高い農産物（栄養が付加されたサツマイモ）の栽培技術に関する研修を行なった。</p> <p>3.6 栄養価の高い作物の種子の提供 ベータカロチンを多く含む品種改良されたオレンジサツマイモのつるを12のグループに提供した。</p> <p>● <u>ベースライン調査の実施</u> 申請書作成時に計画していたベースライン調査を3月に行った。事業地であるムキング郡の6村にて380世帯へのききとり調査とグループディスカッションによる調査を行った。これにより本事業で達成度を測るため地域の水衛生や栄養に関する指標を入手することができた。</p> <p>※事業期間中、東洋大学国際共生社会研究センターから日本人専門家を派遣する予定であったが、変更報告第6号に記載の通り、派遣は中止とし、日本人専門家は遠隔での指導や助言を行った。</p>										
<p>(3) 達成された成果</p>	<p>【成果1：より多くの世帯が、安全な水にアクセスできるようになる】</p> <p>指標 1-1：機能している給水システムの数 事業1年目：Duga Maforoni 村、Kibiboni 村</p> <table border="1" data-bbox="651 1406 1414 1639"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水ポンプ2つ</td> <td>給水ポンプ2つ</td> </tr> <tr> <td>給水タンク3つ</td> <td>給水タンク3つ</td> </tr> <tr> <td>水処理施設2つ</td> <td>水処理施設2つ</td> </tr> <tr> <td>給水ポイント6箇所</td> <td>給水ポイント6箇所 (目標達成度100%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>指標 1-2：新しく給水システムが整備された4村において、給水ポイントから安全な水に日中アクセスできる人が、対象村の人口の8割を超える。(事業1年目：3,979人)</p> <p>※完了報告時点：達成3,979人。新しく給水システムが整備され、対象村に安全な水を供給している。(目標達成度100%)</p> <p>【成果2：コミュニティと地方政府の給水システムを維持管理能力が強化されている】</p> <p>指標 2-1：長期的な収支バランスを元に給水システムの維持管理費を試算し、それを根拠として運営計画(含む使用料金)を策定している水管理委員会の数(各村1グループ、事業1年目3グループ)。</p>	目標	成果	給水ポンプ2つ	給水ポンプ2つ	給水タンク3つ	給水タンク3つ	水処理施設2つ	水処理施設2つ	給水ポイント6箇所	給水ポイント6箇所 (目標達成度100%)
目標	成果										
給水ポンプ2つ	給水ポンプ2つ										
給水タンク3つ	給水タンク3つ										
水処理施設2つ	水処理施設2つ										
給水ポイント6箇所	給水ポイント6箇所 (目標達成度100%)										

	<p>※完了報告時点：3村にて水管理委員会を設立し、計3グループに対して研修を行った。8月と12月に行なった地方政府との調整委員会にて長期的な収支バランスを考慮した運営計画の発表を水管理委員会が行なった。事業では2,3年次に計画通りに資金の積立や給水システムの維持管理がなされているか確認する。(目標達成度100%)</p> <p>【成果3：世帯の食事の多様性が向上する】</p> <p>指標3-1：多様な食料（農産物、水産物を含む）の生産を行っている世帯の割合 事業開始前：26.7% 事業1年目目標：主な活動が2年目以降のため現状維持</p> <p>中間報告時点：聞き取り調査を事業開始10か月目をめどに実施するため未調査 2020年11月に行なった進捗調査時点：27.5%</p> <p>指標3-2：炭水化物や野菜、肉・魚、果物など12の食品群の中から一日4種類以上を食事で摂取できている世帯の割合 事業開始前：26.2% (WV調査) 事業1年目目標：主な活動が2年目以降のため現状維持</p> <p>ベースライン調査時点：32%</p>
<p>(4) 持続発展性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 給水システムの持続性 事業1年次には、3村の水管理委員会の機能を強化し、事業で建設された給水システムの設備を管理できるよう支援した。また、ムキンガ郡や村落給水衛生局と水管理委員会が本事業の進捗や長期の維持管理計画を話し合う会議を行うことで、給水システムの持続性に対する役割や計画を共有した。 ● 皿池の持続性 本事業では農家グループへ魚養殖や栄養価の高い農産物の生産支援を行った。魚養殖用の皿池はグループのメンバーが掘ったため、オーナーシップが醸成されるとともに、維持管理も自ら行うことができるという点で持続性は高いと考えられる。本事業で支援するダムライナーについては本事業を通じて無償で提供した。ダムライナーの耐久年数は6年程度で、その期間、グループは1年に2~3回の魚養殖を行うことができる。この期間に養殖した魚や収穫した農産物を販売することにより継続的に収入を向上し、必要な時期にダムライナーの交換を行うことができるようグループとして発展していくことを目指す。